～令和元年度事業～

7月　定期総会（6日）
　　お父さんのための魚とり講座（27日）
2月　芥川の自然に関わる講座
3月　第15回淀川・芥川クリーンアップ大作戦（7日）

◇◇ 芥川倶楽部 定例活動のおしらせ ◇◇

あくあぴあ芥川付近での、魚とり、澪筋づくり、竹林整備など、子どもから大人まで、どなたでも参加することができます。お気軽にご参加ください。

- 時間：毎月第3土曜日　午前10時～12時
- 集合場所：あくあぴあ芥川　1階　水上ステージ前

時間または集合場所が変更になる場合がありますので、あくあぴあ芥川（072-692-5041）へご確認ください。

川での活動は・・・**“芥川たのしみ隊”**
「子どもたちに川で魚をとることを知ってもらいたい」
「芥川にはこんな魚がいることを知ってもらいたい」
「子どもでも魚とりができることを知ってもらいたい」
という思いで毎月取り組んでいます。
そして、とった魚はあくあぴあ前で毎回子どもたちに見てもらったり、さわってもらったり、ふれあう機会を作って、子どもたちの中に「お魚ファン」「芥川ファン」を増やしていきます。ぜひ一緒に活動しましょう！！

～お父さんのための魚とり講座～

令和元年7月27日（日）午前10時～（雨天中止）

あくあぴあ芥川とネットワークの共催で、お父さんのための魚とり講座を実施します。

この講座は、夏休みの始まりに、魚の上手なとり方を子どもに内緒でこっそりお父さんに伝授し、お父さんを子どもたちのヒーローにするためのものです。

まず、お父さんたちに、芥川で魚のとり方の講習と実習を行います。その間に子どもたちは、館内の水槽で実際の魚を見ながら芥川にいる魚の勉強をします。その後、子どもたちと合流してからは、いよいよお父さんたちの腕の見せ所です。川に入って子どもたちとともに魚とりを実施します。今年は何種類の魚をとることができるか楽しみですね。

- 集合場所：あくあぴあ芥川（1階水上ステージ前）
- 講師：花﨑　勝司　（あくあぴあ芥川主任研究員）
　　福田　真司　（芥川倶楽部）
- 申し込み連絡先はあくあぴあ芥川
　（072-692-5041）まで
- 持ち物：水筒、濡れても良い服、靴
- 雨天中止の判断は、当日、午前7時に行います。
　情報は『芥川倶楽部ブログ』
　http://akutariv.blog85.fc2.com/に掲載します。

アユの溯上調査を実施！

芥川大橋上流の魚みちでの遡上調査も今年で8回目です。
4月22日から6月末まで摂南大学、たかつき環境市民会議の皆様をはじめ多くの方々に協力いただき、ボランティアによる目視調査を行いました。
調査時間中の遡上数は5000匹を超えており、あくあぴあの前でも天然アユが捕獲されています。今年は門前橋上流3ケ所の堰に魚道が整理されたので、多くのアユが上流まで遡上することを期待しています。

- 調査期間：～6月末まで実施
　　9:00～15:00
- 調査場所：芥川大橋上流の堰の魚みち
　　（高槻市芝生町2丁目地先）
- 調査方法：ボランティア調査員2名で魚みちを
　　通過する魚を目視でカウント
- 応募条件：ボランティア保険に加入
　　（費用：主催者負担）
- 問合せ　：茨木土木事務所　地域支援・企画課
　　（TEL:072-627-1121）

芥川倶楽部では、川づくりや各種イベントに一緒に参加してくれる方を募集しています。
イベント等の情報は芥川倶楽部ブログで、紹介していますので、ぜひご覧ください。
ブログ:http://akutariv.blog85.fc2.com/　　HP :http://akutagawaclub.web.fc2.com/
e-mail : akutagawa0726@yahoo.co.jp

～～～「芥川」はみんなの川です　「芥川」をきれいにしましょう　ゴミを捨てないようにしましょう　～～～

あなたと自然が触れ合える芥川の情報誌

芥川水辺だより

Vol.34
2019年
夏号

阪急阪神ゆめ・まちソーシャルラボ
「アユが遡上する魚みち見学とメンテナンス作業体験」

平成31年4月21日

平成31年4月21日（日）、阪急阪神未来のゆめ・まちプロジェクトに応募したアクティブシニア27人が参加。午前9時半に阪急高槻市駅に集合し、3班に分かれて、スタッフが説明をしながら、センター街、西国街道、桜堤公園を経て、昨年完成したばかりの3か所の魚みちまで歩きました。

下井手堰の魚みちには土砂が多く溜まって水の流れが悪く、アユの遡上を妨げているので、一息ついたら魚みちのメンテナンス作業開始。ヒップブーツを履いてショベルを手にして川に入ります。水と一緒に土砂をすくうのは、なかなかの力仕事でしたが、みなさんの頑張りで魚の通り道を確保することが出来ました。暑い中でも、作業を終えたみなさんの笑顔が、とても印象的でした。

メンテナンス作業終了のあと、あくあぴあ芥川まで歩き、4階のピロティで楽しく食事。そのあと全員で記念撮影をして、午後2時過ぎに散会しました。参加者は、市外の方がほとんどで、芥川や高槻のことを知ってもらういい機会になりました。

編集・構成：芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク～愛称：芥川倶楽部～
事務局：NPO法人芥川倶楽部　ホームページ　http://akutagawaclub.web.fc2.com/　ブログ　http://akutariv.blog85.fc2.com/
令和元年（2019年）7月　発行：　高槻市　都市創造部　下水河川企画課　TEL　072(674)7432
●芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワークは、河川協力団体（国（近畿地方整備局）第2号）に認定されています●

～第14回淀川・芥川クリーンアップ大作戦～

平成31年
3月23日

平成17年度から始まった活動も今年で14回目となりました。アユが芥川を遡上する前に川をきれいにしたいという想いから始まった清掃活動が、今では淀川水系の7つのエリアで連携して実施する「淀川水系一斉美化アクション」の一環となり、活動の輪が広がり続けていることは、嬉しい限りです。

今年も市民団体、国土交通省淀川河川事務所、大阪府、高槻市などから、総勢約350人もの参加者が集まりました。ゴミの量は、例年は400袋のごみの量でしたが、今回320袋となり、ごみが減少していました。

清掃終了後には、災害非常食の配布があり、参加者から好評でした。きれいになった淀川・芥川を、たくさんのアユが元気に遡上してくれると、嬉しいですね。

～こいのぼりフェスタ1000～

平成31年
4月29日

毎年GWに桜堤公園で開催される「こいのぼりフェスタ1000」。今年もブース出展を行いました。イベント開始前に芥川で捕まえた魚や水生昆虫を水槽に入れて展示しました。カワムツやヨシノボリ、ヌマエビなど、賑やかな水槽となり、水槽をのぞき込む子供たちも保護者も芥川でいろんな種類の魚が見られることに驚きの表情でした。水生昆虫では、コオイムシやハリガネムシなど珍しい種類も見られ、その生態や体のつくりの説明にみなさん興味深々でした。また、「お魚を触ってみよう」コーナーでは、丸々と太ったドンコが登場。初めは、怖がっていた子どもたちも、ドンコを手のひらに乗せると、満面の笑みで喜んでいました。

午後には、タモ網を持ってみんなで芥川で魚とりを行いました。草むらや大きな石の下を探すと、カマツカやオイカワなどを発見できました。

こうしたイベントを通じて多くの子供たちに生き物にふれてもらい、芥川の豊かな自然を肌で感じ取ってもらえるように取り組んでいきたいと思います。

～唐崎わんど観察会～

令和元年
6月1日

今年も唐崎わんどでの観察会を行いました。当日午前10時時点の気温は、28℃を超えていました。今年は、春からの降水が少かったため、わんどに溜まる水も少なく、参加者はヘドロに足を取られながら、魚や貝探しに一生懸命でした。

まず、初めに国土交通省淀川河川事務所河川環境課長の日下慎二さんからわんどの整備意義や生き物について、説明がありました。その後、約1時間参加者（23人）は、主に3号わんどと4号わんどで、たも網などを用いて、生き物を探し、そして採集後に水槽に移して、高槻市立自然博物館の花崎勝司主任研究員から詳しい説明がありました。

今回の採集結果は、魚類では、オイカワ、ニゴイの仲間、コウライモロコ、ドジョウ、カダヤシ、タウナギの6種類でした。貝類では、イシガイ、ヒメタニシ、ドブガイが採れました。甲殻類は、ヌマエビの仲間とアメリカザリガニが採れました。

水槽を囲んだ子どもたちの歓声や、必死に二枚貝の蓋を開こうとしていた女の子の姿が印象的でした。

暑い中、参加された皆様、お疲れ様でした。

～あくあぴあふれあいﾌｪｽﾀ2019～

令和元年
6月8日

今年も高槻市立自然博物館で、あくあぴあふれあいフェスタを開催しました。自然が大好き、生きもの大好き、わいわいするのが大好き、そんなみなさんが集まって開催された「あくあぴあふれあいフェスタ2019」の来館者数は、約1000 人！

出展された団体の工夫をこらしたゲームや工作をしたりで楽しく過ごしてもらえました。

ネットワーク芥川倶楽部も恒例の「魚つりゲーム」を行いました。ゲームはアユ、コイ、シマドジョウ、アメリカザリガニ、ウナギなど芥川で見られる10数種類のラミネート写真を魚に見立て、写真の先に取り付けたクリップを竹竿の糸先につけた磁石で釣り上げるものです。今回は、釣ったラミネート魚１尾のプレゼントもありました。子どもたちがとても楽しそうで、嬉しくなりました。今年は、85人（2018年は112人）が参加してくれました。

このような取り組みにより、3組の親子が定例活動（7 月から）に参加したいとの申し込みがありました。日頃の活動の成果が現れてきたようですね。